

## 会員資質拡大委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎秦 靖英、○前田 訓以、浅野 周作

2. 委員長所信（基本方針）

現在、安来青年会議所の会員数は一番多い時代(1989年)の59人から比べ半分以下になりました。しかし、会員数が減少したからといって本来の目的は何一つ変わっていません。私たちは人々を巻き込み地域のために考え行動することで、意識変革運動を展開しています。そして、その運動を継続するためには会員の資質向上が重要であり、情熱ある運動を行うには考えを等しくする仲間が必要です。

私たち青年会議所は誰かがやる、やらされているではなく、自分がやる、やりたいに意識変革を行い、無関心から関心に変えることで地域の未来を切り拓く人材を育成しまちづくりを行なっています。これこそ、私たちの未来に必要な行動です。このことを会員に再認識してもらい、多くの人に肌で感じてもらうために自己研鑽の場を設け、率先して行動できる人材を増やすことで、一人ひとり地域の発展を支える存在にします。

そして、私たちが目的として掲げる明るい豊かな社会の実現に向け、市民の方々に意識変革運動の価値と理解を深めていただくことにより、自ら成長を求める青年を育成し会員拡大に繋がります。

私たちが起こす意識変革運動に地域の人たちを巻き込むことによってまちに活気が生まれ人が育ちます。意識を変える運動一つひとつがどれだけ人の心を動かし影響を与えるかを自覚しながら、多くの仲間と地域の未来を切り拓く人材を育成する責任を担い、千里先にある未来に向けて安来青年会議所の魅力を伝えていくことを志し、責任を持って行動します。

3. 事業計画

1) 1月新年例会の開催（1月）

（目的）2019年度安来青年会議所の全事業の成功と全会員の成長を祈禱していただき、一年の方針と抱負を共有します。

（方法）清水寺にて祈禱してもらい、紅葉館にて新年例会を行います。

2) 4月例会／会員拡大事業の開催（4月）

（目的）安来青年会議所の存在価値を外部に認識してもらう事で会員拡大を行います。

（方法）若手経済人との交流・勉強の場を設けます。

3) 10月例会／スキルアップ事業の開催（10月）

（目的）誰かのために率先して行動できる会員を育てます。

（方法）意識変革を行うための実践型研修を行います。

4) 11月例会並びに第161回通常総会

（目的）総会を開催し定款第3章第17条の事項について決議します。

（方法）通常総会を厳粛に滞りなく開催します。

5) 卒業生を送る会の開催（11月）

（目的）卒業生のこれまでの功績に敬意を表し感謝を込めて盛大に送り出します。

（方法）卒業生へ卒業証書授与並びに記念品の贈呈を行い、思いのたけを語っていただきます。

6) 広報紙ふれあい（年末号）の編集発刊（12月）

（目的）安来市民の皆様へ一年の運動の成果を周知します。

（方法）広報紙ふれあい（年末号）を発刊します。安来市内山陰中央新聞購読者対象。

7) 3分間スピーチの開催（2、3、4、5、6、8、9、10月）

（目的）話す内容を3分以内で構成する力、聞き手に伝わるように話す力を向上させます。

（方法）テーマに沿った内容で3分間のスピーチを行います。

8) 会員拡大管理表の管理

（目的）会員拡大への意識向上を図り、青年会議所に賛同する仲間を増やします。

（方法）会員拡大の方法、管理体制を明確にし、会員拡大の進捗管理を行います。